



鹿児島県

令和4年度 県民総スポーツすすむ

元旦「太陽とともに走ろう」
(白波スタジアムから高隈山を臨む初日)



夏季自主研修講座



春「ふれあいプラザ」



体育センターがやってきた!



体育・保健体育指導法講座(離島講座)



鹿児島県総合体育センター

いい汗 いい顔 いい気分 さわやかスポーツライフ



はじめに

鹿児島県総合体育センター
所長 山口良人

2022年は、ワールドカップサッカーがカタールで開催され、日本代表が優勝経験国のドイツ、スペインを初めて破り、2大会連続4度目の決勝トーナメント進出を果たしてくれました。クロアチアには惜しくも延長の末、PK戦によって敗退はしましたが、全力で競技に挑んだ選手の姿は、日本、そして世界に多くの興奮と感動をもたらしました。

また、栃木県では、3年ぶりに国民体育大会が開催され、多数の東京オリンピック出場選手をはじめ国内のトップアスリートなど全国から参集した選手たちによる熱戦が繰り広げられ、本県は、天皇杯14位、皇后杯12位という成績を残しました。

いよいよ今年10月には、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催されます。「オールかごしま」の絆を深め、特別国体・大会の成功に向けて機運醸成を図っていきたいと思います。

さて、本センターでは、今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を十分に講じながら、様々な事業を実施してまいりました。昨年度は、感染拡大防止のため中止したイベントや研修会も、今年度は一部を除き、ほぼ計画どおりに実施することができ、今後に向け、明るい希望の光も見えてきたと感じているところです。今後の状況がどう変容していくかは不透明ですが、次年度以降も、県民の生涯スポーツ振興のための各種事業の充実に向けて、尽力してまいりたいと思います。

また、本センターは、「鹿児島県広域スポーツセンター」として、総合型地域スポーツクラブの育成支援も行っております。今年度は、2回の研修会を開催し、事例発表や研究協議等をとおして今後の方向性や課題等について共有するとともに、クラブの資質向上や市町村とクラブの連携強化に努め、昨年度から開始した「鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ制度」の改善も図ったところです。次年度からは、中学校の部活動の地域移行が段階的に始まり、総合型地域スポーツクラブの役割にも、更に大きな期待がかかってくるのが予想されます。今後も市町村、総合型地域スポーツクラブ、県保健体育課、県スポーツ協会等関係機関との連携を更に深め、クラブの育成・充実に努めてまいります。

あわせて、本センターでは、子どもが生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を培うことができるように、学校体育の充実を図るための取り組みも行っております。今後も体育・保健体育の授業改善が図られるよう、全ての校種の教員を対象とした短期研修講座や自主研修講座等を実施し、教員の資質能力の向上に更に努めてまいります。

ここに、本センターが今年度に取り組んだ各事業内容とその成果をまとめた「令和4年度県民総スポーツすすむ」を刊行しました。ぜひ、御高覧いただきますとともに、本誌が県民の体育・スポーツ及びレクリエーション活動の振興の一助となれば幸いです。

目 次

	ページ
I 令和4年度鹿児島県総合体育センター事業概要	1
II 令和4年度鹿児島県総合体育センター事業等	2
1 スポーツ・レクリエーション活動の支援	
(1) 普及・奨励	
ア 普及・奨励事業の充実及びモデル事業の実施	
(ア) スポーツ・レクリエーション「フェスティバル」	2
a 春「ふれあいプラザ」	2
b 秋「スポーツプラザ」	3
c 元旦「太陽とともに走ろう」	4
(イ) 暑中げいこ・寒げいこ	5
(ウ) 地方青少年武道錬成大会	6
イ 女性のためのスポーツ・レクリエーション教室	7
ウ わくわくスポーツ・レクリエーション教室	8
エ スポーツ・レクリエーション体験教室「体育センターがやってきた」	9
オ 市町村等のスポーツ・レクリエーション活動への支援	10
(ア) 指導者派遣・広報	10
(イ) スポーツ・レクリエーション用具の貸出し	10
(2) 指導者の養成と資質向上	11
ア スポーツ・レクリエーション活動リーダー養成講習会	11
イ 公認アシスタントマネジャー養成講習会	12
ウ 柔道指導者講習会	13
エ 地域社会武道指導者研修会	14
オ アウトドア活動指導者育成講習会	15
(3) 総合型地域スポーツクラブ育成支援	16
ア 活動状況調査（設立支援状況調査・運営状況調査）	16
イ 情報提供・相談	16
ウ 育成支援	17
(ア) 広域スポーツセンター研修会	17
(イ) 総合型地域スポーツクラブ育成のための事業	19
(ウ) 鹿児島県広域スポーツセンター認定クラブ制度	19
(エ) 認知度向上推進事業	20
(4) 調査研究の充実及び情報提供	21
ア 県民のニーズに即応した情報の提供	
(ア) スポーツ情報交換会	21
(イ) 刊行物の作成・発行	21
(ウ) ホームページ・フェイスブックによる情報提供	22
イ スポーツ・レクリエーション相談体制の充実	
2 学校体育の充実	23
(1) 教員の資質能力の向上と授業改善に向けた研修の充実	
ア 悉皆研修や短期研修講座等（体育・保健体育）の充実	
(ア) 短期研修講座	
a 水泳指導法講座	23
b 小学校体育実技基礎講座①②	24
c 小学校体育授業づくり講座	26
d 中高保健体育授業づくり講座	27
e 中高保健体育実技講座①②	28
イ 自主研修講座の充実	30
(ア) 体育・保健体育指導法講座	30
(イ) 体育センター来所研修	31
ウ 各種研修会や校内研修会等への職員派遣	32
(2) 学校体育に関する資料の提供（ホームページ・フェイスブック）	34

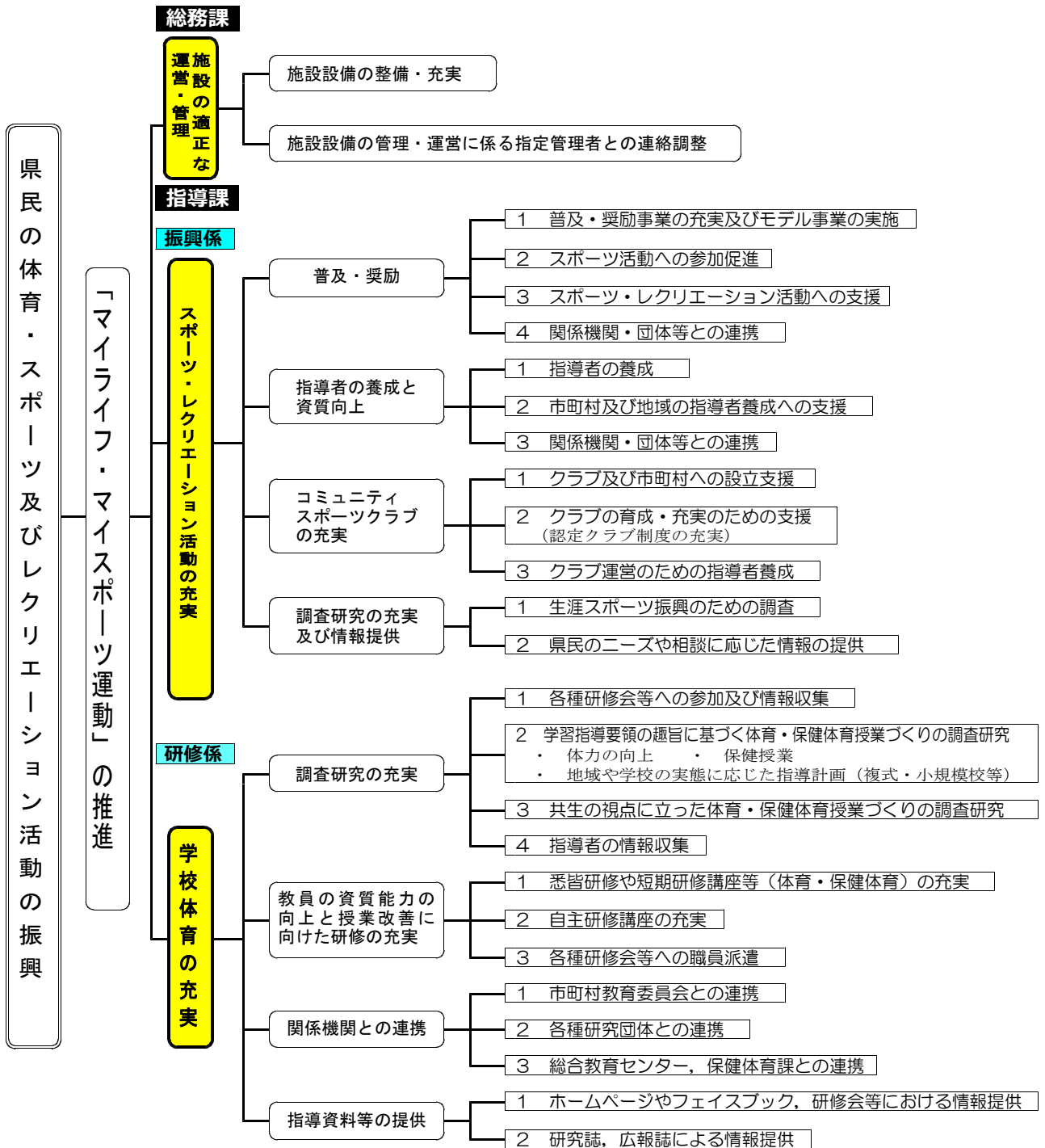
Ⅰ 令和4年度鹿児島県総合体育センター事業概要

1 運営方針

総合体育センターは、県民の体育・スポーツ及びレクリエーション活動の振興を図る拠点として、次の視点で事業を展開する。

- (1) 施設設備の整備・充実と適正な管理・運営に努める。
- (2) スポーツ・レクリエーション活動の普及・奨励を推進するとともに、指導者の養成と資質向上に努め、県民の健康増進と体力向上を図る。
また、その活動の地域の拠点となるコミュニティスポーツクラブの充実に努める。
- (3) 学校体育に係る教員の資質能力の向上と授業改善に向けた調査研究や研修会等の充実に努め、児童生徒の運動習慣の育成と体力の向上を図る。

2 努力点



3 目標

- 生涯スポーツ指導者の育成を図る。
- 各種研修講座及び職員派遣事業の充実により、教員の資質能力の向上及び授業改善を図る。
- コミュニティスポーツクラブの認知度100%を目指す。
- 成人の週1回以上のスポーツ実施率70%を目指す。